

東高校 203人卒業

金沢学院東高校の第五十五回卒業証書授与式は三月二日、金沢市の金沢歌劇座で行われ、卒業生二百三人が思い出を胸に門出しました。ロビーでは美術文化コースの卒業制作展も開かれ、絵画や工芸品などの力作が式典を彩りました。

「一隅を照らす」人になれ

石田校長から卒業証書を受ける卒業生代表の富田真那さん
 〓 金沢歌劇座



感謝の言葉と学ぶ意欲を

卒業生の氏名をクラスごとに読み上げ、代表の



答辞を読む卒業生総代の小向勇太君

飛田理事長告辞(抜粋)
 「ありがとう」という言葉を使つてほしい。感謝の気持ちこそ、素直に口に出すことが、これからの新しいことを学んだり、身に付けたりするのには難しい。常にアンテナを上げて、感性を研ぎ澄ませ、学ぶ意欲を忘れないでほしい。」

石田校長式辞(抜粋)
 「人間として良いか、か悪いかが、その価値判断の基本的な軸。自覚し、自分自身が行動してほしい。自分一杯努力する一隅を照らす人を目指し、社会に貢献できる人になつてほしい。」

富田真那さんに石田毅士郎校長が卒業証書を手渡しました。石田校長が式辞、学校法人金沢学院の飛田秀一理事長が告辞でそれぞれ激励しました。斎藤千佳子同窓会長の祝辞と在校生総代の井口満貴さんの送辞に続いて、卒業生総代の小向勇太君が「古里を愛し、地域社会に貢献したい」と答辞を述べました。

式では校長褒賞として三カ年皆勤賞の七人(代表・田中里奈さん)、教科外特別功労賞・功労賞・努力賞の三十八人(代表・遠藤聖大君)が表彰されました。

遺跡変遷や虫害対策

文化財学科が卒業研究発表

金沢学院大学美術文化学部文化財学科の卒業研究発表会は三月七日、金沢市の石川県立



大家さん(右)の発表について解説する小嶋芳孝教授=県立歴史博物館

歴史博物館で開かれ、大家美歩、中川真衣、林香里、坂口諒子の四人の皆さんが発表しました。

このうち、大家さんは祭祀の時代的な変遷に基づいて、かほく市・指江B遺跡と加茂遺跡の関連を推測し、坂口さんは博物館における虫害の現状把握と対策の必要性を説きました。

発表に先立ち、東四柳史明教授が「戦国期の能登長氏と中居鑄物師」と題して講演しました。



美術文化コースの作品展



〓 写真上

〓 写真上



能楽部が恒例の自演会
 金沢学院大学能楽部の第十三回自演会は三月七日、金沢市の石川県立能楽堂で開かれ、素謡、仕舞、一管で六つの番組が披露されました。

最後を飾る仕舞「野守(のもり)」は写真左で、卒業を迎える安達裕梨さんが、野を守る鬼神が憑依した姿を躍動的に演じました。